



わたし考一さんで、 暴走政治をストップ!



市職員・教職員を
橋下氏の“奉仕者”に

教育・職員2条例

子どもの成長ゆがめ、行政は大混乱

「教育基本条例案」は、憲法が禁じる教育への政治介入・支配を図ることが目的です。また極端な競争を持ち込み、教育の場に混乱をもたらし、こどもの成長をゆがめるだけです。また、「府職員基本条例」も府の職員を「全体の奉仕者」か

ら、「知事と“維新の会”の奉仕者」へと根本的に変質させようとするもの。結局大阪中を「橋下色」一色にして反対者は許さないという、独裁そのものです。平松市長も「倫理条例」で市長への服従をねらっています。

平松市長も
「倫理条例」で
職員締め上げ
では一緒



そんなやり方
民間企業にも
ありません

平松応援団にも
多数が所属

すすめているのは靖国派

こんなひどい民主主義破壊を橋下知事とすすめている維新の会。中心は、「戦前の戦争は正しかった」と主張し、首相の靖国神社公式参拝や憲法改悪をねらう日本会議地方議員連盟のメンバー。平松市長を応援する自民党府議、市議の多くもこの会員。これでは民主主義は守れません。

憲法違反

大阪弁護士会 会長
中本 和洋さん

憲法及び地方教育行政組織法に違反する大阪府教育基本条例の制定に反対。
(9月15日大阪弁護士会会長声明)

教育の場 が工場に

日本ペンクラブ 会長
浅田 次郎さん

これはまるで工場の品質管理です。…教育の場に均質の教職員だけが残し、均質の教育が行われ、均質の子供たちが育ってくることになる。
(9月26日日本ペンクラブ会長声明)

教育は 大混乱

大阪府教育長
中西 正人さん

条例の内容を直ちにすべて進めれば、大阪の教育は大混乱する。
(8月27日付毎日新聞)

軍隊的官僚 組織づくり

北海道大学大学院 教授
山口 二郎さん

教育に競争を持ち込むやり方は多様性や自発性を否定している。政治主導ではなく単なる支配だ。
(9月18日付朝日新聞)

教育長も弁護士会長も
ペンクラブ会長も
こぞつて反対

平松市長でも橋下知事でも

福祉は 大後退



国保料は 大幅値上げ

平松市長は国保料値下げの願いに背を向け、こどもの学資保険まで差し押さえてきました。橋下知事は市町村の国保への補助をなくして、保険料の大幅値上げをねらっています。

敬老パスは 大改悪

平松市長は市長選挙後に敬老パスを見直すとっています。橋下知事は地下鉄を民間会社に売り払おうとしています。そうなったら、敬老パスも赤バスもなくなってしまいます。

市営住宅値上げ、 戸数を大幅削減

平松市長は市営住宅家賃減免制度の改悪をねらっています。橋下知事は昨年、府営住宅半減に言及。こんな人が市長になったら、市営住宅も大幅に減らされてしまいます。

福祉制度を削減

行政改革といえば、福祉を真っ先に削るやり方は平松市長も橋下知事も全く同じ。平松市長は「他市水準を上回っている施策は見直す」と、重度障がい者医療、就学援助などを削減の対象にしています。橋下知事も福祉医療や救急医療を軒並み削ってきました。